日本BS放送株式会社

2021年8月期第3四半期

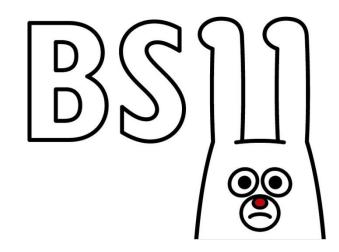
(決算補足説明資料)

2021年7月2日





I 決算概況





2021年8月期 第3四半期(連結)

売上高

8,780百万円(前期比 3.0%増育)

営業利益

1,985百万円(前期比 18.7%增介)

2021年8月期 第3四半期(個別)

売上高

8,349百万円(前期比 3.5%增1)

営業利益

2,002百万円(前期比 20.0%増育)



売上高は8,780百万円(前期比3.0%増)、営業利益は1,985百万円(前期比18.7%増)、

親会社株主に帰属する当期純利益は1,406百万円(前期比22.3%増)

	2020年8月期	2021年8月期 第3四半期累計						
	第3四半期 累計	実績	前年 同期比	増減額	主な変動要因(前年比)			
売上高	8,523 (100.0%)	8,780 (100.0%)	+3.0%	+257	【売上高】 ・放送事業収入: +237百万円			
売上総利益	4,344 (51.0%)	4,653 (53.0%)	+7.1%	+309	・その他収入: +43百万円 ・その他収入(出版): ▲24百万円			
営業利益	1,672 (19.6%)	1,985	+18.7%	+312	【営業利益】 ・放送事業: +334百万円 ・出版事業: ▲21百万円			
経常利益	1,677 (19.7%)	2,056 (23.4%)	+22.6%	+378				
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,149 (13.5%)	1,406 (16.0%)	+22.3%	+256				



		2020年8日期末	2021年8月期第3四半期末		
		2020年8月期末	第3四半期	前年増減額	
	 流動資産 	13,751	14,356 (65.6%)	+605	
	固定資産	7,668 (35.8%)	7,541 (34.4%)	▲127	
資産合	計	21,419	21,897 (100.0%)	+477	
	流動負債	2,519 (11.8%)	1,937 (8.8%)	▲582	
	固定負債	99 (0.5%)	1 04 (0.5%)	+5	
負債合	計	2,619 (12.3%)	2,041 (9.4%)	▲ 577	
純資産合計		18,800	19,856 (90.6%)	+1,055	
負債•純資産合計		21,419 (100.0%)	21,897 (100.0%)	+477	



売上高は8,349百万円(前期比3.5%増)、営業利益は2,002百万円(前期比20.0%増)、 当期純利益は1,423百万円(前期比24.0%増)

	2020年8月期					
	第3四半期 累計	実績	前年同期比	増減額	主な変動要因(前年比)	
売上高	8,067 (100.0%)	8,349 (100.0%)	+3.5%	+281	(売上高) ・タイム収入: ▲7百万円 ・スポット収入: +245百万円 ・その他収入: +43百万円	
売上総利益	4,125 (51.1%)	4,453 (53.3%)	+8.0%	+327	(段階利益) ・売上高が前年比より伸長、	
営業利益	1,668 (20.7%)	2,002 (24.0%)	+20.0%	+334	費用の効率的使用により増加 《利益増加の具体的要因》 <u>製造原価:</u> ・自社制作番組(レギュラー番組・特別	
経常利益	1,675 (20.8%)	2,073 (24.8%)	+23.8%	+398	番組)のクオリティの追求とコストの見直しが奏功販売管理費:	
当期純利益	1,148 (14.2%)	1,423 (17.0%)	+24.0%	+275	・新聞(全国・地方)やWEB等の 広告宣伝を効率的に実施	



(単位:百万円、下段は構成比)

		2020年8月期	2021年8月期 第3四半期累計			
		第3四半期累計	実績	前年同期比		
売上高		8,067 (100.0%)	8,349 (100.0%)	+3.5%		
	タイム収入	5,978 (74.1%)	5,970 (71.5%)	▲0.1%		
	スポット収入	1,821 (22.6%)	2,067 (24.8%)	+13.5%		
	その他	267 (3.3%)	311 (3.7%)	+16.3%		

主な増減要因(前年対比)

- タイム収入 特別番組のセールス強化により、前期比微減で着地
- スポット収入 新規クライアントの獲得に注力、また巣ごもり需要による通販市況の堅調を受け、前期比+13.5%と大幅増
- その他 製作委員会への出資に伴う配当金や番組コンテンツ販売先の拡大に伴い、前年比+16.3%増加



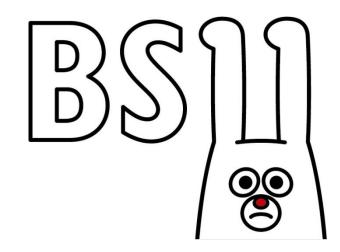
(単位:百万円、下段は売上比)

					(単位:日ガロ、下校は元工儿)		
		2020年8月期	2021年8月期 第3四半期累計				
		第3四半期累計	実績	前年同期比	主要な増減要因		
番組	関連費用(原価)	2,592 (32.1%)	2,403	▲ 7.3%			
	番組購入費	400 (4.9%)	254 (3.0%)	▲36.5%	・視聴者ニーズに応えたドラマジャンルの拡大 ・番組枠販売の好調による、購入コンテンツ数の減少		
	番組制作費	2,192 (27.1%)	2,149 (25.8%)	▲2.0%			
放送	関連費用(原価)	466 (5.7%)	462 (5.5%)	▲ 1.0%			
	放送委託費	416 (5.1%)	417 (5.0%)	+0.1%			
	技術費	50 (0.6%)	45 (0.5%)	▲ 11.1%			
広告	関連費用(販管費)	643 (7.9%)	596 (7.1%)	▲ 7.4%			
	広告宣伝費	597 (7.4%)	568 (6.8%)	▲ 5.0%	・新聞(全国・地方)やWEB等の広告宣伝を効率的に実施		
	販売促進費	46 (0.5%)	28 (0.3%)	▲39.2%			



		2020年2月期士	2021年8月期第3四半期末				
		2020年8月期末	第3四半期	前年増減額	主な増減要因		
	流動資産	1 2,946 (62.8%)	13,617	+671	・現金及び預金の増加 +639百万円		
	固定資産	7,675 (37.2%)	7,550 (35.7%)	▲125			
資産合計		20,622 (100.0%)	21,167	+545			
	流動負債	1,807	1,274	▲ 533	 ・未払金の減少 ▲194百万円 ・未払法人税等の減少 ▲123百万円 ・未払費用の減少 ▲91百万円 ・未払消費税の減少 ▲92百万円 		
	固定負債	99 (0.5%)	104 (0.5%)	+5			
負債	合計	1,906	1,379 (6.5%)	▲ 527			
純資産合計		18,715	19,788	+1,072			
負債•純資産合計		20,622	21,167	+545			

Ⅲ 通期計画





売上高は11,600百万円(前期比1.8%増)、営業利益は2,211百万円(前期比1.0%増)、 親会社株主に帰属する当期純利益は1,533百万円を計画(前期比2.9%増)

(単位:百万円、下段は売上比)

	2020年8月期		2021年8月期					
	第2四半期	通期	第2四半期累計		通期計画			
	累計	迪 别	実績	前年同期比	計画	前年同期比	増減額	
売上高	5,690 (100.0%)	11,394	5,747 (100.0%)	1.0%	11,600 (100.0%)	+1.8%	+205	
営業利益	1,012 (17.7%)	2,189 (19.2%)	1,264	25.0%	2,211 (19.1%)	+1.0%	+21	
経常利益	1,017 (17.8%)	2,195 (19.2%)	1,334	31.2%	2,303 (19.9%)	+4.9%	+107	
親会社株主に帰属する当期純利益	690 (12.1%)	1,490 (13.0%)	911 (15.9%)	31.9%	1,533 (13.2%)	+2.9%	+42	



売上高は11,000百万円(前期比3.2%増)、営業利益は2,181百万円(前期比1.8%増)、

当期純利益は1,503百万円を計画(前期比3.0%増)

(単位:百万円、下段は売上比)

		2020年	2020年8月期		2021年8月期			
		第2四半期		第2四半	·期累計	通期計画		
		累計	通期	実績	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売	上高	5,397 (100.0%)	10,657	5,459 (100.0%)	+1.2%	11,000	+3.2%	+343
	タイム収入	4,014 (74.4%)	7,934 (74.4%)	3,943 (72.2%)	▲ 1.8%	7,940 (72.2%)	+0.1%	+6
	スポット収入	1,206 (22.3%)	2,385 (22.4%)	1,344 (24.6%)	+11.5%	2,700 (24.5%)	+13.2%	+315
	その他	176 (3.3%)	336 (3.2%)	171 (3.1%)	▲ 2.9%	360 (3.3%)	+7.1%	+24
営	業利益	992 (18.4%)	2,142 (20.1%)	1,250 (22.9%)	+26.0%	2,181 (19.8%)	+1.8%	+39
経	常利益	999 (18.5%)	2,150 (20.2%)	1,320 (24.2%)	+32.1%	2,255 (20.5%)	+4.9%	+105
当	期純利益	681 (12.6%)	1,459 (13.7%)	902	+32.5%	1,503 (13.7%)	+3.0%	+44



2021年8月期は、期末配当金 20.0円を計画

配当政策の基本方針

- ・当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、 財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、 長期にわたり安定した利益配当を継続的に実施する方針です。
- 年1回の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

		2016年 8月期	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期 (予想)
年間四	記当	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円	20.0円	20.0円
	普通配当	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円	20.0円	20.0円
1株当	たり当期純利益	82.04 円	85.27 円	93.19 円	65.08円	83.72円	86.10円

※1株当たり当期純利益の数値は、2017年8月期以前は個別、2018年8月期以降は連結で表示しております。



株主優待制度の概要

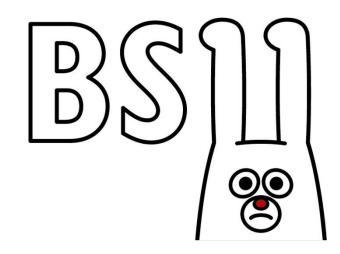
- ・8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施
- ・ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈
- ・各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単元(100株)以上保有されている株主様が対象

長期保有株主優待制度の概要

- ・以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」(1,000円券)を追加贈呈。
- ①基準日(毎年8月末日、2月末日)の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと
- ②当社株式1単元(100株)以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日	8月末日		
贈呈時期		5月	11月		
聯口中家	株主 優待制度	************************************	商品券 (1990) ビックカメラ商品券1,000円券1枚		
贈呈内容	長期保有株主 優待制度		************************************		

Ⅲ 重点実施事項トピックス



知恵と知識を結集して戦略を強力に実行、 これら6つの「力」を強化・実践 過去に捉われず 経営環境の変化に応じた 新たな試みに挑戦し続ける力 戦略を構築する力 NEW NEW 変化 改革 対応力 推進力 **TEAM** 戦略 実行力 構築力 マーケ 企画力 前期まで掲げてきた「4つの力」に加え、急激に変化する経営環境に 対し挑戦し続けるための「変化対応力」、「改革推進力」の強化・ 実践を基本戦略と位置付ける。

「6つの力」を具現化する重点施策を

<u>新たに [Value5] と位置づけ推進</u>



I. 情報番組の新規、深耕開拓

・戦略に基づく新規開拓、新規企画の共同開発



Ⅱ. アニメ事業の強化と発展

・アニメ番組の強化、周辺事業への発展



Ⅲ. コラボレーション施策の促進

・番組共同制作をはじめとした協力関係の強化



IV. 新規事業の開発

・ 開局15周年(2022年12月)に向けた新規事業の開発



V. 特番の強化

・マーケティングデータに基づいたコアファン獲得につながる企画開発

BS11日本BS放送

レギュラー番組

➤ ゴルフ番組の新設



5月より 毎週日曜日 午後6時30分~放送 アマチュアゴルファーの明日のスコアを一打縮める ゴルフテクニック満載の本格派ゴルフ番組

➤ ドラマジャンルの拡充

日本初放送・BS初放送の作品を順次放送



▶報道番組の強化



最新ニュースから専門的な経済番組まで多岐にわたるラインナップ

曜日・時間帯ごとで視聴者ニーズに応える編成を実施











2021年3月から2021年5月のトピックス

BS11日本BS放送

V. 特番の強化



春風亭昇太さんと歴史マニアがとことん語り尽くす"歴史バラエティー"



岩手・宮城・福島をめぐり、それぞれの場所で 復興のシンボルと呼べる缶詰を発掘



と"上方落語"をテーマに2週に渡ってお届け



二夜連続、「織田信長」「明智光秀」の人物像をクローズアップ

愉しや!にっぽん再発見 シリーズ特番



スタジオゲストに高畑淳子さん

MCに徳光和夫さん、ゲストに慶應義塾大学大学院政策・メディア 研究科教授の蟹江憲史さん



パワフルプロ野球部門を新設し、ウイニングイレブンとともに2部門にてインターネットによる オンライン予選を実施。決勝大会は、生放送及び「BS11オンデマンド」サイトにて配信。

Ⅲ.コラボレーション施策の促進











BS11日本BS放送

VALUE Ⅱ. アニメ事業の強化と発展

◆4月クールアニメ関連番組 全46タイトル放送!

・「ANIME+」枠 放送タイトル

















◆オリジナルアニメ関連番組の強化

「アニゲー☆イレブン!」

毎回ゲストに人気声優・アニメソング歌手などを迎えるトークバラエティ。今年10月に放送開始7年目を迎える。



「Anison Days」

番組オリジナルアレンジによるスタジオ生演奏でMCの森口博子さん、酒井ミキオさん、そしてゲストが、それぞれがセレクトするアニメソングをお届け。



BS 11 オンデマンド にて配信中!

「虹のコンキスタドールが本気出しました!? ~Next Stage~」

4月2日(金)より

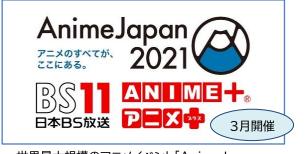
BS11にて放送開

アイドルグループ「虹のコンキスタドール」が様々な 企画に挑戦する育成バラエティ番組。



GYAO!、U-NEXT、Amazonプライム・ビデオ 等の各動画配信サービスにて見逃し配信 (2021年7月現在)

◆アニメイベントへの出展



世界最大規模のアニメイベント「AnimeJapan 2021」に出展。初の試みとなるBS11の公式 YouTubeチャンネルにて、4月の新作アニメに出演の 声優陣によるトークショー等を生ライブ配信。

第4四半期 重点施策(2021年6月~2021年8月)

BS11日本BS放送

V. 特番の強化

Ⅲ.コラボレーション施策の促進















視聴者ニーズに応えた特番を毎月放送

Ⅱ. アニメ事業の強化と発展

≪製作委員会への出資作品(2021年7月~9月放送作品)≫









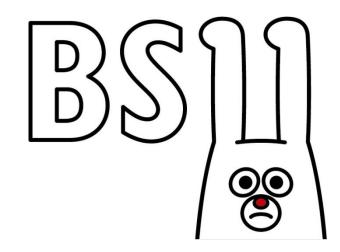






7月クールアニメ関連番組 全46枠放送!

Ⅳ (ご参考)会社概要





会	社概要
本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送"BS11" チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 齋藤 知久 代表取締役社長 兼 COO 小野寺 徹
設立	1999年8月
資本金	41億8393万円 (2020年8月31日現在)
従業員数	119名(連結) (2020年8月31日現在)

	沿革
1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及 に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2004年9月	東経110度CSデジタル放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送(BS11)開始
2010年4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2010年11月	株式会社ジュピターテレコム(J:COM)において 再送信開始
2011年10月	接触率調査(BSパワー調査)に参加
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は、国民共有の希少資源である電波を預かる放送事業者として公共的使命と社会的責任の重要性を深く認識しています。

「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え幸せな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、企業の持続的な成長

と中長期的な企業価値向上を図るため、実効性のあるコーポレートガバナンスを実現してまいります。

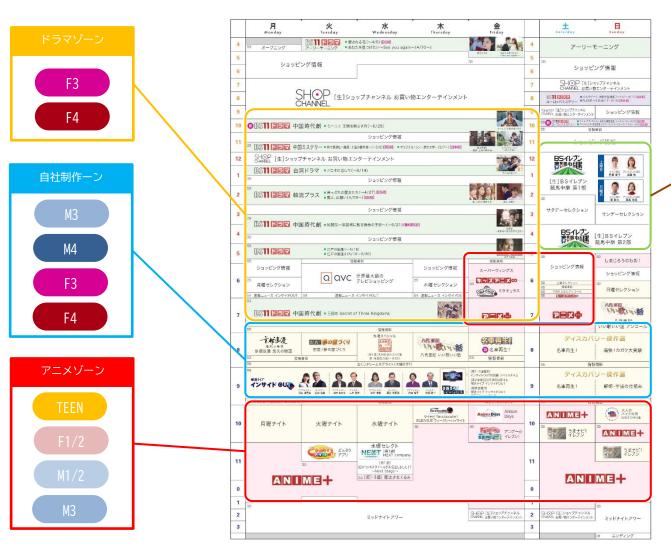


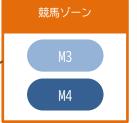


- ①家電量販店**ビックカメラを親会社に持つ**ため、番組・CMの放送に加えて、 **消費者へのダイレクトなコンタクトポイントが持てる企画**立案が可能!
 - ②独立系だからこそ地上波放送局に制限されない自由な編成が可能!
- ③『アジアドラマ』・『アニメ』・『競馬』など多岐にわたるラインナップ編成により、 幅広い年齢層の視聴者層が存在!



BS11では曜日・時間帯ごとで視聴者ニーズに応える編成を実施 そのため、他民放BS局と比較しても**幅広い年齢層の視聴**が見られる





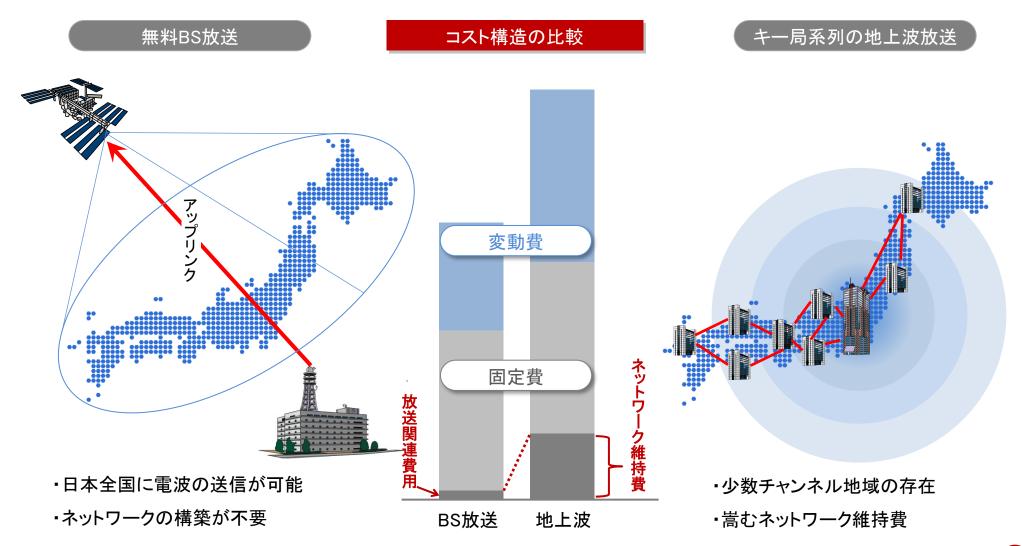
ターゲット区分

	性別	年齢
TEEN	男・女	12-19歳
M1	男性	20-34歳
M2		35-49歳
М3		50-64歳
M4		65歳以上
F1	女性	20-34歳
F2		35-49歳
F3		50-64歳
F4		65歳以上



【地上波とは全く異なるコスト構造により高効率の広告ビジネスを実現】

◆地上波に比べ低コストでの放送 ⇒ 効率的な広告費で日本全国に放送可能





- □ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- □ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- □ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。 その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他 の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性 があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL https://www.bs11.jp/

